

# 令和2年度 小林市立南小学校 自己評価書

N.O. 1

評価段階 4 : 期待以上 3 : ほぼ期待どおり 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する

学校経営ビジョン	<input type="radio"/> 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 かしこく やさしく たくましく
----------	---

## 〈知 育〉

## ○ 主体的に学び、確かな学力を身に付ける子どもの育成

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
				取組別	総合	
知 育	1 分かる・できる授業による学力向上	<input type="radio"/> 学び合い、考える時間の確保と内容の定着 <input type="radio"/> I C T の効果的活用 <input type="radio"/> 学びたい度 9 0 % 以上 <input type="radio"/> 単元テスト定着率全教科 8 0 % 以上	<input type="radio"/> 授業時数が減り、児童同士が対面する学習形態ができない中、基礎基本の定着を中心につなげてきた。履修内容を指導し終え、今後、感染症対策を講じながら、学び合い等の時間を確保していく。 <input type="radio"/> デジタル教科書を活用するとともに、タブレットに慣れさせ、活用を推進していく。 <input type="radio"/> チャレンジタイム（毎週月曜午後実施）での算数科の学力向上を図る。	3	3	• コロナ感染対策のため、学び合いの活動は限られたが、考える時間は確保できるよう努めた。 • デジタル教科書やタブレットを活用する回数が増え、指導の幅が広がった。 • チャレンジタイムは計画的に実施でき、習熟度が増した。 • 学びたい度、単元テスト定着率は目標を上回った。
	2 校内研修等を中心とした授業の相互公開（三校合同研修の充実）	<input type="radio"/> 児童の学力向上につながる授業改善	<input type="radio"/> 校内研修において、「生きる力」の基礎となる思考力・判断力・表現力の育成の推進を図り、共通理解、共通実践を行い、全員公開授業を実施することを通して、授業改善を図っていく。	3		• 全員公開授業を予定通り実施し、意見を交換することで、授業改善へつながった。
	3 家庭学習・読書活動の充実と習慣化	<input type="radio"/> 「こばやし学園家庭学習」活用 <input type="radio"/> 「家庭読書週間」の設定	<input type="radio"/> 「家庭学習振り返り週間」「家庭読書週間」を設定し、家庭と連携した家庭学習、読書の充実と習慣化を図る。	2	2	• 家庭学習、読書活動の様々な手立てをとったが、取組に個人差が見られた。 • 個に応じた指導、対策を再考する必要がある。
	4 キャリア教育の推進	<input type="radio"/> 市研究センター研究と連携した取組	<input type="radio"/> キャリアパスポートを活用し、主体的に学びに向か力を育てる。	2		• 年度途中からの取組だったため、十分活用できなかった。来年度は年度初めから計画的に取り組む必要がある。